

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月

事業所名 あしたも笑顔 北綾瀬

職員数 6名

	チェック項目	評価		課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ	
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		基準のスペースである。
	② 職員の配置数は適切である	6		適切である。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	4	スロープはあり、必要に応じて出すことがある
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		業務終了後、掃除をし玩具等の消毒を徹底して行っている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	3	今後もミーティングを行い、参加していないスタッフは議事録を見るよう伝えている
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		ホームページに掲載し、改善目標に取り入れている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		ホームページに掲載し、改善目標に取り入れている。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	行っていない。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		定期的に行っている。今後も継続し、参加していないスタッフも周知できるよう継続していく。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		今後も継続し、ご家族とコミュニケーションを図り、計画作成を行うようにする。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		標準化したアセスメントツールを使用している。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	4	ガイドラインに沿った計画を作成している。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		計画に沿った支援を行っている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		職員で話し合い考えている。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		日々、バリエーションを加える工夫をしている。
	⑯ 子ども達の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6		個々の性格や障害に応じた支援計画を作成している。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5年 3月

事業所名 あしたも笑顔 北綾瀬

保護者等数(児童数)4名

回収数2名

割合 50%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2					
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	2					
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2					
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2					
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2					
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2					
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2					
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2					
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1			1		
	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2					
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2					
保護者への説明等	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1			1		
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができていくか	2					
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2					
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1			1		
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明とされ、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2					

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		当日の分担を決めている。その場にはいない職員には、確認する様徹底している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		次の日に振り返りをし、参加できない職員への情報共有をしている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		日々の記録はその日のうちに記入している。	
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	2	現在は文書で行っているが、周知出来ていなかった。今後周知していくよう伝えた。	
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	5	コロナ禍で、電話での担当者会議が多くなっているが、必要に応じて行っている。(管理者が主に参加している)
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	5	保健師等との連携は現在ない。必要に応じて行っていく
		㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6	医療ケア児の受け入れをしていない。
		㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6	医療ケア児の受け入れをしていない。
		㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		6	必要に応じて行っている。
		㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		6	必要に応じて行っている。
㉗		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5	外部研修に参加していない。今後行っていく予定。	
㉘		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6	コロナ禍の為行っていない。	
㉙		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	1	5	子ども部会への参加している。	
㉚		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		6	連絡帳や送迎時に、日々の様子を聞き、デイでの様子を伝えている。	
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	5	特定の職員が対応することが多い。		
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に行っている。	
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		支援内容を十分に検討し、ご家族同意のもと作成している。	

	㉞	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2						
	㉟	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2						
	㊱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2						
非常時等の対応	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2						
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2						
満足度	㊴	子どもは通所を楽しみにしているか	2						
	㊵	事業所の支援に満足しているか	2						

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者への説明責任等	94	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		定期的に面談を行い、ご家族とコミュニケーションをとり話をしている。
	95	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		行っていない。
	96	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		迅速に対応できるよう心掛けている。
	97	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		月に一度、お便りを発行し、発信している。
	98	個人情報の取扱いに十分注意している	6		契約時に保護者からの同意を得るとともに細心の注意を払っている。
	99	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		個々に応じて配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6		コロナ禍の為行っていない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		マニュアルは事業所に置いてあり、誰でも閲覧できる。又ホームページにも記載している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		年に4回行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		契約時に保護者から聞き取りをし、確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	2	4	保護者からの確認のみ。必要に応じて、医師の指示を仰ぐようにしていく。
	45	ヒヤリット事例集を作成して事業所内で共有している	6		事例・対応・改善策・再発防止を記載し、情報共有をし、注意喚起を行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		定期的に研修の機会を設け、対応している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		契約時に身体拘束の説明と同意を得ているものの、計画書には記載していない。今後記載できるよう検討していく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5年 3月 事業所名 あしたも笑顔 北綾瀬 回答 6名

環境・体制	チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	①	②				
環境・体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3		基準以上のスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切である	3	3		適切である。
	③	事業所の設備等について、J/V/Aフリー化の配慮が適切になされている	1	1	4	手すりやスロープ等、必要に応じて活用している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			ミーティングを継続的にを行い、全体周知を行う。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			職員間で共有し、業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2		ホームページで公開しているが非常勤職員は周知しおらず今回周知を行った。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2		4	行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			定期的に研修の機会を設けている。参加出来なかった職員は、資料の配布及
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	2		面談を行っている。定期的にモニタリングを行っているが、非常勤勤務職員の周知がされておらず、今回行った。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2		標準化されたアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	4		固定された職員が行っている。今後はチームで行えるよう機会を作っていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			ご家族とコミュニケーションをはかり、その都度必要な活動を取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1		5	季節ごとの行事を、学校休業日に行うようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	6			適切に作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	6			前日の振り返りを行い、当日の役割分担を決めている。参加していない職員にも周知している。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			次の日に、前日の振り返りをし、情報共有している。	
関係機関や保護者との連携	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			日々の記録をし、連絡帳や送迎時に保護者に伝え、取り組みをしている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	3		定期的にモニタリングを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	2	4		ガイドラインに沿った計画を作成し、計画に沿った支援を行っている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	4		管理者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6			必要に応じて連携している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			6	医療ケア児の受け入れをしていない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	3	必要に応じて連携している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4		必要に応じて連携している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	4	必要に応じて連携している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			6	コロナ禍の為、行っていない。今後検討していく。
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			6	管理者、又は児童指導員が必ず参加するようにしている。	

	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			送迎時に保護者と話をする時間を設け、情報共有をしている。
	㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4		特定の職員が対応している。
保護者への説明責任等	㉖	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時に重要事項説明書を用いて説明を行っている。
	㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			日々の送迎時や、面談時に対応している。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			現状行っていない。 今後必要に応じて開催を検討していく。
	㉙	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2		契約時に苦情受付先の説明を行い、事業所内にも掲示し対応を行っている。
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2		毎月お便り形式の会報を発行配布を行っている。
	㉛	個人情報に十分注意している	6			契約時に個人情報の同意を得るとともに、細心の注意を払っている。
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			個々に応じて配慮している。
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6			6 行っていない。
非常時等の対応	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			マニュアルは事業所内に設置し、誰でも閲覧できる。又ホームページにも掲載している。
	㉟	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			年に4回訓練を行っている。
	㊱	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			定期的に研修の機会を設け、対応している。
	㊲	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			契約時に説明と同意を得ているものの、計画書には未記載の為、今後記載できるものに変更を検討していく。
	㊳	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	5		保護者との確認のみ。 今後は必要に応じて医師の指示を仰ぐ。
	㊴	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			事例・対応・改善策・再発防止を記載し、職員間で共有し、注意喚起を行っている。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 5年 3月

事業所名 あしたも笑顔 北館瀬 保護者等数(児童数)18名 回収数 15名 割合 83.3%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	11	4		・実際に活動している様子を見たことがないのでわからない ・学年別で部屋を分けてほしいですが難しいですよね…	事業所の申請上、部屋を仕切ることは難しいです
	②	職員の配置数や専門性は適切である	8	5	2	人数不足に思う	基準以上の配置を行っています
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	9	5	1		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	13	2		家庭での様子を共有していただき、計画に取り入れている	今後もご家族と情報共有をし、継続して行っています
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	10	5		プログラムが公開していますか？アプリにして公開してほしいです	日々のプログラムは当日に決定することが多く、その日の連絡帳や送り時に伝えることが多くなっています 今後はお便り等で発信していきます
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	7		コロナ禍だったので難しいと思う。今年から経験できればいいと思う	コロナ禍が落ち着いた時に検討していきます
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていく	13	2		・連絡帳などのやりとりは丁寧だが、デイの様子を見れないのが残念 ・訓練を色々な方法で行ってもらっている	活動時間の見字は可能でず

保護者への説明等	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	11	3	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている		7	8	・保護者同士が合う機会がない ・コロナ禍の為なし	保護者の意見を取り入れながら必要に応じて開催を検討していきます
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13	2			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	13	2			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	10	5			
	⑭	個人情報に十分注意している	12	3			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	9	4	2		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	8	7			
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	13	2		通所の日は朝からとても楽しみにしています	
	⑱	事業所の支援に満足している	12	3		・公園に行ったり、集団レクをしたり、体操を覚えたり等様々なことをしてきている ・トイレトレーニングがもう一歩進められるといいなと思っています	自分で出来ることを増やすことを目標に様々な取り組みをしていきたいと思っております

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。